

# ショウガ根茎腐敗病の総合防除技術の開発

## 臭化メチルくん蒸剤全廃に対応した防除技術を確立

### 研究開発の背景

- ◇和歌山市の砂地地帯では、新ショウガの施設栽培が盛ん。生産量は全国第2位。
- ◇ショウガ根茎腐敗病の防除薬剤の主力であった臭化メチルくん蒸剤が2012年末に全廃。ショウガ根茎腐敗病の被害増加が懸念された。
- ◇産地では、臭化メチルくん蒸剤処理に替わる新たな防除技術の確立が望まれていた。



発病株

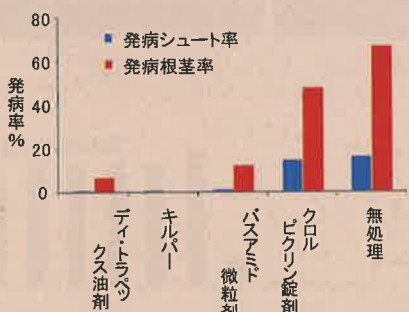
### 研究成果の内容

#### 臭化メチルくん蒸剤に依存しない新しい栽培体系



#### ①定植前の土壌消毒

ディ・トラベックス油剤は、低温時の処理でも高い効果が見込める。

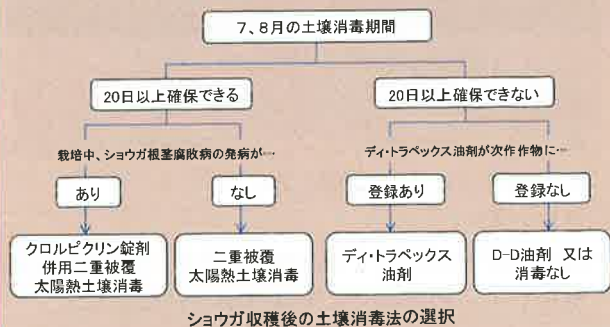


#### ②健全な種ショウガの確保

種ショウガに褐変がないかよく観察し、健全な種ショウガのみを植え付ける。

#### ④収穫後の土壌消毒

収穫後には土壌くん蒸剤処理か二重被覆太陽熱土壌消毒を行う。



#### ③栽培中の防除

ランマンフロアブルとユニフォーム粒剤のローテーション散布が効果的。

### ショウガ根茎腐敗病の新しい総合防除技術をマニュアル化 (2014年)

### 産地の状況

- ショウガ定植前・収穫後および栽培中の防除は広く普及。
- 健全な種ショウガの確保に向け、県内産種ショウガの産地化に尽力。

### 期待される効果

☆臭化メチルくん蒸剤全廃後も、ショウガ根茎腐敗病の被害を抑制し、新ショウガの安定生産に寄与。